

上信越地域における広域的産業・物流活性化

課題と成果

整備の事例

群馬県及び連携する新潟県・長野県の現状

◆ 3県の道路整備・港湾整備の状況

群馬県・新潟県・長野県においては3県をつなぐ高規格幹線道路（関越道・上信越道・北関東道・長野道・北陸道）が整備済みであり、さらに現在、中部横断道・上信自動車道等の高規格道路の新設整備や港湾（新潟港・直江津港）の拡張整備を行っている。これにより、物流効率化に資する交通結末点の整備が進み、産業立地のポテンシャルがこれまで以上に高まっている。

◆ 3県で共通する産業・目指す方向性

群馬県及び連携する新潟県・長野県ではいずれも農林業と製造業がさかんです。農林産物についてはキャベツ、きのこ類や果実等の流通が3県間で多くある。また、3県ともに農林業や製造業における海外・県外への販路拡大を目指している。

◆ 海外への輸出状況

現在、3県からの輸出は主に東京港、横浜港、名古屋港を利用しているが、新潟港・直江津港を利用することにより、近年の日本の輸出相手国として上位に位置する中国への輸出において、リードタイムの大幅な短縮とコストの縮減が可能となる。

課題

物流拠点と交通結末点間の交通の円滑化を図り、物流の効率化を支援する道路整備等を推進する必要がある。

目的

交通結末点と物流拠点とのアクセスをさらに強化することにより、海外及び国内へ群馬県の産業製品の販路拡大を支え、本地域のさらなる産業活性化に寄与する道路整備を行う。

事業の指標

指標1 連携する3県における産業産出額の増加

産業算出額 = 群馬県・新潟県・長野県の製造品出荷額等及び農業産出額

現況:116,893億円(H27) ⇒ 目標:125,701億円(+7.5%)(H31末)
⇒ 実績:145,632億円(+24.5%)(H31末)

指標2 群馬県における産業産出額の増加

産業算出額 = 群馬県の製造品出荷額等及び農業産出額

現況:29,537億円(H27) ⇒ 目標:30,651億円(+3.8%)(H31末)
⇒ 実績:34,069億円(+15.3%)(H31末)

成果と達成度報告

連携する3県の産業産出額が
28,739億円増加しました！

群馬県の産業産出額が
4,532億円増加しました！

指標1: 連携する3県における産業産出額の増加

	目標	実績	増減
当初値(H27)		116,893億円	
目標値(H31末)	125,701億(+7.5%)	145,632億円	当初値より28,739億円増加

指標2: 群馬県における産業産出額の増加

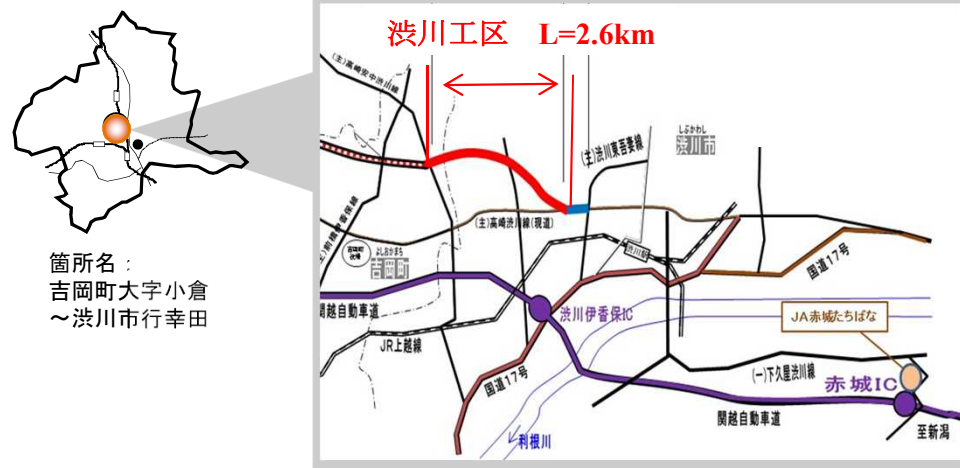
	目標	実績	増減
当初値(H27)		29,537億円	
目標値(H31末)	30,651億円(+3.8%)	34,069億円	当初値より4,532億円増加

上信越地域における広域的産業・物流活性化

整備効果事例

事例① （主）高崎渋川線（渋川工区） バイパス

■位置図



■整備効果



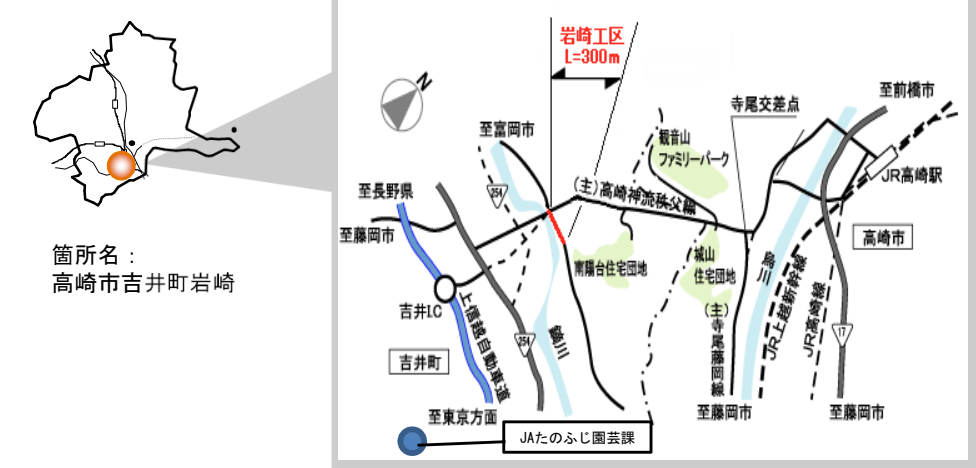
現道が渋滞するため、周辺の産業活動に影響をきたしていました。



生産地と出荷拠点であるJA赤城たちばなのアクセス性が向上しました。

事例② （一）後賀山名停車場線（岩崎工区） 線形改良

■位置図



■整備効果



歩道・自転車道がなく交錯の危険性が高く移動時間にロスがある状態でした。



生産地と出荷拠点であるJAたのふじとのアクセス性が向上しました。